

みずから立てた問いが問う者に迫り来るとき

宮本久雄／武田なほみ編著

あなたの隣人はだれか

現代における共生の行方

2011年上智大学神学部
夏期神学講習会講演集



あなたの隣人はだれか
現代における共生の行方

森本あんり

本書は、昨年上智大学で行われた「夏期神学講習会」の諸講演をまとめたものである。この講習会は、神学的研鑽を求めるすべての人に開放されており、かつ文部科学省により宗教科免許状取得のために必要な単位としても認定を受けているため、毎年高校や中学の教員からかなりの出席者があるとのことである。わたし自身も今年は講師をつとめたため、慣例でこの書評をお引き受けすることとなった。

これが「第五八回」というから、この講習会は戦後を通じてほとんど休みなく続けられてきたことになる。こういう息の長い仕事のできるところが、カトリック教会の強みである。今回は特に「あなたの隣人はだれか」という総合主題が掲げられており、昨年三月一日以来多用されるようになった「絆」という言葉が響いてくるかのようである。だが、編者おふたりの「まえがき」と「むすびとひらき」を読むと、この主題はすでにその数か月前に決められていた、ということが明らかとなる。主催者は、自ら定めてあったその主題をまったく新たな状況のもとで受け止め直すことを余儀なくされたのである。事実、何

人かの登壇者が震災津波と原発事故の記憶をもとに自らの担当課題を語り出しており、目の前の現実と鋭く切り結ぶ姿勢を見せている。前教皇ヨハネ・パウロ二世の「苦しみは常に神秘であり続ける」という言葉も、重い共感を呼び起こす基調音となっている。

全体は五部構成で、聖書学、神学、宗教学、他宗教学思想からの学びの後に、「放射能の荒野・隣人・共生」という題で行われたシンポジウムの記録が付されている。論題や分野は多岐にわたり、五日間を費やして行われた十一の講演と四つのシンポジウム発題を記録した一冊であるから、この小欄で紹介できることはごく一部に限られてしまう。偏りのあることをお許しただいた上で、特にわたし自身が学んだことをいくつか挙げておきたい。

プロテスタント組織神学者の芳賀力氏は、三位一体の神の位格間における相互浸透と役割分担を論じた上で、その神の大きな物語に出会い、これに応えることで取り戻される他者との共在を語る。光延一郎氏は、隣国である韓国の「東学」思想と

「恨」の正負両義性を示唆深く紹介している。ホアン・アイデル氏は、ユダヤ教思想における隣人愛の位置を論じるにあたって、何とインターネット上の YouTube で見つけたコメントから説き起こしている。現代倫理は、マザー・テレサとダイアナ妃という「二人の人道主義的女性」を比較した無名氏が語るように、自己犠牲という思想を拒否するのだそうである。なぜ天地創造の物語がペーリの文字から始まっているかを説くタルムードの知恵も面白かった。現代宗教学は大きく様変わりしつつあるが、鶴岡賀雄氏はデュルケムの共同体論からバタイユやブーバーへと論じ及び、宗教的共同体の成立根拠としてトーマスや犠牲の意義に注目している。三・一一を論ずる際には、宗教学の知見が不可欠である。竹内修一氏と中島隆博氏は、異なる文脈ながら、ともに孟子から「惻隱の心」を引いて共感の普遍性を論じ、高山貞美氏は道元や親鸞から「慈悲の心」を取り上げていて興味深い。

ただ、最後のシンポジウムは、それぞれ有意義な発言ながら、どちらかと言うと四つの別々の小講演を集めたような印象である。発題者相互のやりとりやフロア聴衆との自由な質疑応答が見えれば、もっと活発で魅力ある記録となったかもしれない。せっかくなのでこれだけの陣容を集めたのであるから、「競演」でもあり「饗宴」でもあるような本来の「シンポジウム」を聞き取った、という思いが残る。

とはいえ、こうした学びの会が長く継続的に開催され、そこに多くの参加者が真剣な面持ちで集まっているという貴重な事実自体が、現代日本における「隣人」や「共生」のありかを示している、とも言えるだろう。企画や編集に携わった方々に感謝を申し上げたい。

(もりもと・あんり＝国際基督教大学学務副学長
(四六判・三四四頁・定価一五〇〇円(税込)・日本キリスト教団出版局)

3.11後に聴くべき言葉を精選
6人の渾身のメッセージ!!

TOMOセレクト 3.11後を生きる

各冊 四六判・80頁・840円

「助けて」と言おう

奥田知志



「絆」社会の中
での孤立を指摘

今、いのちを守る



旧約聖書
ものがたり

中村妙子 巖谷小波文芸賞 受賞

天地創造からエ
レミヤの預言まで
11の物語を収録。
小学生にむけた
いきいきとした語
り口で大人も楽し
める。 A5判・248頁・2,100円

ルカの救済思想

断絶から和解へ 木原桂二

放蕩息子やザアカ
イなど、ルカ文書
に特徴的な「改
心」の物語を丹念
に分析し、「救い」
との関わりを解明
する。 A5判・306頁・4,410円

日本キリスト教団出版局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18

☎03-3204-0422 ☎03-3204-0457

E-mail eigyou@bp.ucci.or.jp (価格税込)

http://www.bp.ucci.or.jp